



クリーンアップ。

ひぬま

Vol.27

2013.3

<http://www.hinuma-network.jp>

ネットワークだより

第12回 ひぬま環境フォーラムを開催しました

平成 24 年 11 月 25 日（日）いこいの村瀬沼において、「第 12 回ひぬま環境フォーラム」を開催しました。

【第1部】では、平成 24 年度瀬沼水質浄化ポスター、第6回ひぬまフォトコンテスト、平成 24 年度水質浄化活動功労者の表彰式を行いました。

いずれも描写力、表現力に優れ、意欲に溢れた作品ばかりで審査は難航しましたが、選考委員会で選ばれたポスター入賞者 24 名、フォトコンテスト入賞者 11 名に表彰状が贈呈されました。また、長きにわたり水質浄化活動に熱心に取り組まれ、多くの功績のあった方々が、水質浄化活動功労者（2 個人・1 団体）として表彰されました。受賞者の皆様おめでとうございます。

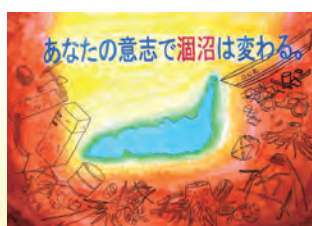
今後ますますご活躍されますことを期待しております。



【第1部】表彰式



銚田市立旭北小学校 1 年 白田 優



笠間市立友部第一小学校 6 年 永井 慎吾



茨城町立明光中学校 1 年 鈴木 舞夢



最優秀賞「虹」
深作 正 (大洗町)



三ツ賞「釣り人」
鈴木 諭 (高松市)

★各部門の入賞作品は、クリーンアップひぬまネットワークホームページからご覧いただけます。

※敬称略

平成24年度 瀬沼水質浄化 活動功労者 (個人・団体)



荘司 道之介 (水戸市)

平成7年度から、「水戸市石川川を守る会」会長として、石川川の草刈りや清掃などの河川愛護活動に取り組まれています。

また、平成14年度からは、「水戸市石川川流域家庭排水対策協議会」会長として、生活排水対策に係る意識啓発にも取り組まれています。

大久保 悦子 (笠間市)

昭和46年度から、「笠間生活学校」会員、のちに同学校の委員長として(平成21年4月まで)、生活者の立場から家庭でできる身近な水質浄化対策の推進に取り組まれました。

また、クリーンアップひぬまネットワーク設立以来、理事として、瀬沼の水質浄化に向けた取り組みに尽力されています。

茨城町水と自然を守る会 (茨城町)

平成10年度から瀬沼水系と湧水地の水質調査など、瀬沼の保全活動を実施しています。平成24年度には、関係5団体による「瀬沼生態系再生プロジェクト」を立ち上げ、水生植物群をつくるための基礎調査や実験、瀬沼の水質・ヘドロの浄化に関する調査を行い、瀬沼の生態系の再生だけでなく、農漁業、観光、商工業の活性化を目指した活動を展開されています。

クリーンアップひぬまネットワーク会長あいさつ



ラムサール条約登録地を視界にいて ～涸沼のすばらしさを語りあいたい～

梅は過ぎ、華やかな桜を待って涸沼の水辺を歩く時、修復された護岸堤が眩しく、ヨシの芽生えの緑は爽やかです。

沿岸の景観は、太平洋・那珂川河口域・涸沼川という順で海を離れますと、涸沼からは常陸野の流れ、台地を刻み、水源となる難台・愛宕山や鶏足山塊の一群の山々へと流れの変化の妙を見せてくれます。こうした涸沼川流域の変化に富んだ生態系や景観が、行政的にも地理的にも、土地の所有形態の状態でも分断されていますが、それらを一連のものとし、水の恵みを共有していこうと、今ある境界を跨いでの協働は欠かせないものとの共通理解に立って本

会のネットワーク活動を実践的に継続しています。

こうした河川や湖沼、海辺や湿地・水田までの生き物の多様性を守りながら、湿地帯の資源を活用していこうと言うラムサール条約への登録地として、涸沼を推挙する声を大いに叫びたい年にしたいものです。

クリーンアップひぬまネットワーク会長 廣瀬 誠

水質体験教室「親子で調べて学ぼう 涸沼の水」

ひぬま環境フォーラム【第2部】では、「親子で調べて学ぼう 涸沼の水」というテーマで、茨城県霞ヶ浦環境科学センター 富田 俊幸先生ご指導のもと、涸沼の水や川の水、うすめたしょう油などを、CODバックテストなどを使って調べる水質体験教室を開催しました。

参加者は、見慣れない実験器具を前に興味深そうに手に取ったりしながら、先生のお話に熱心に耳を傾けていました。実際に、水のおおいを嗅いだり、色や透明度を観察したりして、科学的に身近な水を調べる実験を行いました。



【第2部】体験教室

体験教室の様子をご紹介します♪



どんなにおいがするのかな？



涸沼の水はきれいかな？



CODバックテストを使って調べてみよう！



どんな色に変わるのかな？



身近な水とくらべてみよう！



色や透明度をみてみよう！どんなふうに見えるかな？

今回の体験教室が、水はどのようにして汚れていくのか、どうすれば汚さずきれいな水を守れるのか、考え、実践していくきっかけになれば嬉しいです。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

涸沼に流入する水の汚れのうち約30%が、家庭からの生活排水（台所・トイレ・風呂・洗濯など）によるものです。毎日の生活において、ひとりひとりの心がけが大切です。「洗剤や石けんの使用量は、必要最小限にする」「食べ残したものは、そのまま流さない」など、みんなができることを心がけ、ひぬまのクリーンアップをすすめましょう！



Q1.「ラムサール条約」って何ですか？

A1. 湿地の生態系を守るための国際条約です。

クリーンアップひぬまネットワーク会員だより

新しく「クリーンアップひぬまネットワーク」会員になられた団体をご紹介します。

「命の水を求めて 3.11～」 NPO法人 Earth Color 理事長 飯塚 博通

「涸沼や涸沼川の水が飲めたらなあ」何度もそう思ったあの大震災……。

水を求める長蛇の列に並びながら涸沼川と涸沼を思いました。

当該法人は教育啓発活動・職業訓練・第一次産業体験等を通して、すこやかな街づくりの推進や発展と、平和で豊かな地域社会の実現を目指した活動を行っています。その中の地域活動の一環として、自然豊かな地域環境を未来へ残せるようにしたいと考え、就労移行訓練中の障がい者と共に河川水質調査等を行っています。

「ふるさとの大自然を慈しみながら作業訓練をすることで、豊かな心を育成したい。」そのような思いと経緯から、この度、クリーンアップひぬまネットワークに入会させて頂きました。

今回、此処に寄稿させていただく水質調査等の内容は、法人スタッフと障がい者達の活動によるものです。

調査では、目視・気温・水温・透視度・COD等の簡易測定を実施しています。

涸沼で採取したサンプルを使ったらろ過実験機による試験では、まるで水道水ではないかと思いがうほどの、ろ過効果を認めました。これにより、少しずつではありますが、涸沼の水を大切に作る心が培われてきたと感じています。

今後も、きれいな涸沼川・きれいな涸沼を取り戻せるよう、皆様とともに考えていきたいと思います。

♪うさぎ追ひし、かの山、小鮒釣りし、かの川・・・水は清きふるさと♪



水質調査の様子

平成24年度 ひぬま流域ウォッチングを開催しました



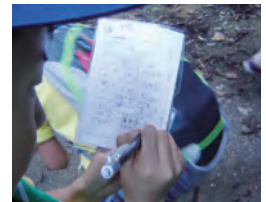
どんな植物や野鳥に出会えたのでしょうか？

平成24年10月21日(日)、愛宕山神社周辺のハイキングコース(笠間市)において、自然観察会を行いました。

当日は、朝から天候にも恵まれ、紅葉にはまだ少し早い時期ではありましたが、そよぐ風は心地よく、絶好のハイキング日和となりました。

参加者は、講師の先生のお話に耳を傾けながら、野草を手で触って感触を確かめたり、双眼鏡を使って熱心に野鳥を観察していました。

また、当日配布したクリアケースに木の葉をはさんだり、先生の話聞き逃すまいと、熱心にメモを取る子供達の姿がとても印象的でした。



第7回 ひぬまフォトコンテスト作品募集のお知らせ

クリーンアップひぬまネットワークでは、自然に親しみ、水質浄化や自然保護に対する意識を高めることを目的に、涸沼流域の自然や日常の風景などを題材とした写真作品を募集しております。

涸沼流域の自然や人々の暮らし等、あなたが未来に残したい涸沼の風景を、写真を通して表現してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしております。

応募規定

- 作品のテーマは、涸沼流域の ①自然風景、②動植物、③人々の暮らし等です。
- 作品は、カラー4切・ワイド4切・A4サイズとします。(※インクジェットによるプリント可)
(ただし、高校生以下は、2Lサイズからの応募が可能です。)
- 応募は、1人10点以内です。(各作品の裏面に応募用紙を貼付願います。)
- 最優秀賞1点、優秀賞2点以内、優良賞5点以内、奨励賞2点以内、ニコン賞1点を選定し、表彰する予定です。表彰式は、平成25年11月に行う予定です。

応募締切：平成25年9月30日(月) ※当日消印有効



※応募の詳細については、ホームページ (<http://www.hinuma-network.jp/>) をご覧ください。

賛助金のご協力ありがとうございました

ネットワーク活動の充実を図るため、事業所及び団体会員の皆様に賛助金（1口：10,000円）のご協力をお願いしましたところ、27事業所・団体様から合計280,000円のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

今回ご協力いただきました賛助金は、啓発物品（アクリルスポンジ・水切りネット：右写真）の作成に充てさせていただきました。厚く御礼申し上げます。

今後も湖沼の水質浄化活動を実践してまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げます。



（左：水切りネット、右：アクリルスポンジ）

【2口】日本たばこ産業株式会社

【1口】あさ川製菓株式会社

常陽銀行 公務部
稲田石材商工業協同組合
板橋精機株式会社
（社）園芸いばらき振興協会
笠間工芸の丘株式会社
茨城町商工会
水戸農業協同組合
（社）笠間観光協会

（株）ニコン水戸製作所

内原カントリー倶楽部
イオンリテール株式会社
（財）茨城県環境保全事業団
（財）茨城県開発公社 いこいの村湖沼
水戸市常澄商工会
水戸市内原商工会
茨城中央農業協同組合
茨城県生活協同組合連合会

（株）山新

関東セキスイハイム工業株式会社
（株）タカタ
（株）茨城県中央食肉公社
日東電気株式会社
笠間市商工会
大洗町商工会
茨城旭村農業協同組合

（※順不同・敬称略）

読者プレゼントクイズ

	5			1				7
	3				6		1	
4			8			2		
		6	9		1			3
1							8	9
8	9		5		4			
5				7	2			4
		7				5	2	
2		4		3			9	8

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で5名の方に、「オリジナルエコバック」を、10名の方に、図書カード（1,000円分）をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号」をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ 平成25年4月30日（火）の消印有効です。

★前回の解答…ネットワークだよりVol.26ナンバーナインの答えは「18」でした。
たくさんのご応募ありがとうございました。

オリジナルエコバック



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージをご紹介します～

- ◆ 湖沼の水質が少しずつ良くなっているのを知り、とても嬉しく思います。もっともっと水がきれいになり、水辺に親しめる湖沼になって欲しいですね。
- ◆ 毎日の散歩でゴミ拾い、小さな活動をしています。
- ◆ ひとりひとりの心がけで、町や地域が住みやすくきれいな場所になるようにゴミのない社会にしたいものです。
- ◆ 湖沼が汚れる一番の原因は、家庭からの生活排水だということを、子ども達を通して各家庭で考えてもらえたらと思います。
- ◆ 身近にある湖沼がきれいな水になり、しじみや魚が喜んで住める環境になるよう努力しています。
- ◆ 道路の両脇が草で覆われているため、ゴミが捨てやすいのかいろいろなゴミが捨てられています。ゴミを捨てやすい環境を作ってしまうのもよくないですね。
- ◆ 湖沼にドライブに行くと、雑木林からキジが出てきてみんなビックリ！そして大喜び。自然との共生は大切だと思いました。

☆ たくさんのメッセージありがとうございました ☆